



第194期 報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



株式会社 リーガル コーポレーション

証券コード7938

ミッション・ビジョン

MISSION

「ずっといい」を創造する

私たちはこれまで「丈夫で長持ち」を大切に、100年以上にわたって質にこだわったモノづくりに励んでまいりました。その想いを継承・拡張し、これからは一人ひとりの暮らしに寄り添い、「ずっといい」と思ってもらえるものや体験を提供していきます。時間が経つほど大事にされ、価値が生まれるような「ずっといい」暮らしや生き方をみなさまとともに創造していくことを目指します。

VISION

人生に物語を、社会に豊かさを。

「ずっといい」を創造することで、人生に驚きや感動や心地よさが芽生え、一人ひとりに物語が生まれます。一人ひとりの良質な毎日が積み重なり、未来には新しい文化が生まれ、社会は豊かになっていきます。私たちは人生に物語を、社会に豊かさをつくっていく会社を目指します。

社長ご挨拶



2026年6月
代表取締役社長

青野元一

皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援をたまり厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復傾向にあるものの、継続的な消費者物価上昇による消費マインドの低下に加え、地政学リスクの緊迫化を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰等により、先行きは不透明な状況が続いております。

靴業界におきましても、消費者物価上昇に伴う生活防衛意識の高まりによる節約志向の継続、原材料価格、商品仕入原価の高騰等により厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、中期経営計画(2023年度から2025年度)の最終年度において、基幹ブランドのリブランディングやOMO推進に注力いたしましたが、主力であるビジネスシューズ需要減少の影響は大きく、目標数値を大きく下回る結果となりました。

このような状況下、国内生産拠点の集約・再編、組織のスリム化による固定費削減等、抜本的な構造改革に加え、成長分野であるEC事業や海外事業への戦略投資を強化し、持続可能な高収益体質への転換を目指してまいります。

私たちは今、「Reframe」を掲げ、新たなステージへと踏み出します。

これからの10年を見据え、私たちはこれまでの「当たり前」や「過去の成功体験」にとらわれることなく、聖域なき変革に挑みます。

その中心にあるのは、常に「お客さま」です。

お客さまにとっての「ずっといい」を誰よりも早く実現するために、私たちは事業構造そのものを進化させてまいります。

変革には困難も伴いますが、私たちはそれを組織の「結束の力」に変え、一丸となって乗り越えていく覚悟です。

未来の成果のために、今、全社を挙げて新たな土台を築いてまいります。

生まれ変わり続ける私たちの挑戦に、どうぞご期待ください。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧をたまりますよう、よろしく願い申し上げます。

役員 (2026年6月23日現在)

代表取締役社長	青野元一
常務取締役	白崎裕公
取締役	宮田圭三(新任)
取締役(社外)	岩田功(新任)
取締役(社外)	貞末奈名子(新任)
常勤監査役	古賀辰哉
常勤監査役	内堀慎一
監査役(社外)	中川ゆき子
監査役(社外)	西田章

関係会社 (2026年3月31日現在)

- 卸売子会社
株式会社リーガル販売
- 小売子会社
株式会社リーガルリテール
上海麗格鞋業有限公司
- 生産子会社他
岩手製靴株式会社
岩手シューズ株式会社
株式会社ニッカエンタープライズ
株式会社リーガルビジネスサポート
香港麗格靴業有限公司 他

※第2四半期(中間期)後に発表の
中間報告書(WEB版)もご覧ください



業績のハイライト

当期におきましては、基幹ブランド「リーガル」のリブランディングや会員組織の統合による顧客基盤の再構築を図ったものの、市場環境が急速に変化するなか、主力である中価格帯のビジネスシューズが年間を通して苦戦したことなどにより、売上高は22,841百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

利益面につきましては、滞留在庫品の処分値引きやポイント還元施策の強化による値引販売の増加等により売上総利益率が低下したことや、売上高の減少に伴う売上総利益額の減少により、営業損失385百万円(前年同期は営業利益397百万円)、経常損失215百万円(前年同期は経常利益497百万円)を計上することとなりました。

また、政策保有株式の売却益や事業構造改善費用を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は244百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

(単位:百万円)

業績の推移	2025年3月期	2026年3月期
売上高	23,558	22,841
売上総利益	11,441	10,715
販売費及び一般管理費	11,044	11,100
営業利益又は営業損失(△)	397	△385
経常利益又は経常損失(△)	497	△215
親会社株主に帰属する当期純利益	700	244

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加や仕入債務の減少、また事業構造改善費用としての特別退職金などの支払いにより、933百万円の支出(前年同期は226百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出はありましたが、投資有価証券の売却による収入などにより、896百万円の収入(前年同期は183百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済による支出や自己株式の取得による支出などにより、221百万円の支出(前年同期は1,745百万円の支出)となりました。

この結果、当期末の現金及び現金同等物は前期末比239百万円減の3,489百万円となりました。

(単位:百万円)

キャッシュ・フローの推移	2025年3月期	2026年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	226	△933
投資活動によるキャッシュ・フロー	183	896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,745	△221
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	19
現金及び現金同等物の期末残高	3,729	3,489

財務のハイライト

総資産につきましては、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少があったものの、保有株式の株価上昇などにより投資有価証券が増加したことなどから、前期末比1,347百万円増の27,606百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金の減少があったものの、繰延税金負債の増加などにより、前期末比419百万円増の13,932百万円となりました。

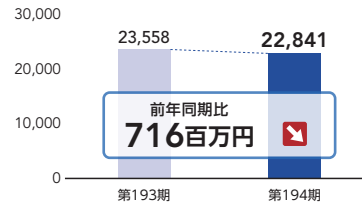
純資産につきましては、自己株式の取得などにより株主資本が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末比928百万円増の13,674百万円となりました。

自己資本比率は49.5%と、前期末比1.0ポイント増加いたしました。

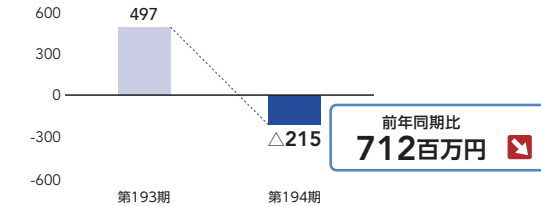
(単位:百万円)

財務の推移	2025年3月期	2026年3月期
流動資産	14,958	14,829
固定資産	11,300	12,776
資産合計	26,258	27,606
流動負債	9,329	9,673
固定負債	4,182	4,258
負債合計	13,512	13,932
純資産	12,746	13,674
負債及び純資産合計	26,258	27,606

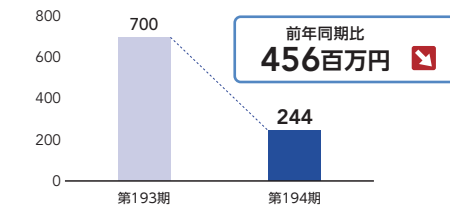
売上高(百万円)



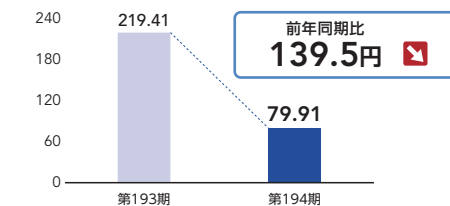
経常利益(百万円)



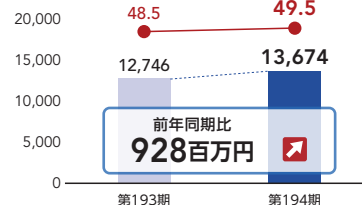
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



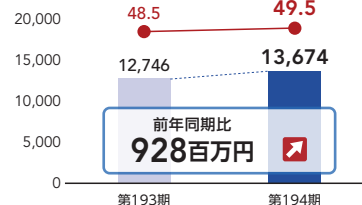
1株当たり当期純利益(円)



純資産額(百万円)



自己資本比率(%)



REGAL

Always feel good



“この一足から、家族の物語がはじまる。”

REGALから、親子に贈る「ファースト・セレブレーションシューズ ギフトセット」が登場。

「靴はただ足元を支える道具ではなく、人生の物語を運ぶもの」REGALはそう考えます。人生の節目に“記憶を運ぶ靴”を届けたい。

このファースト・セレブレーションシューズ ギフトセットが、親子の時間を育み、未来に繋がる愛とぬくもりが溢れる記憶となることを願って――。



First Shoesの詳細はこちら



■Cushioning Core

「Cushioning Core(クッションングコア)」はフォーマルな美しさと、現代のライフスタイルに寄り添う快適さを融合させたREGALの新しい機能です。

独自開発のクッション材は、スポーツシーンでも注目されているETPU(発泡熱可塑性ポリウレタン)を使用しており、進化したクッション性が毎日の足取りをどこまでも軽やかにし、一年を通じて、いつでも変わらない快適な履き心地を維持します。



Cushioning Coreの詳細はこちら



■Easy Assist™(ハンズフリー)

立ったまま、手を添えずに履ける「Easy Assist™」

「Easy Assist™」は踵部分がしなやかに動く独自設計により、手を使わずにスムーズに履くことができます。

ハンズフリーシューズ特有の「靴べらのような突き出した形状」を抑え、端正なシルエットとストレスフリーな着脱体験を両立しました。[特許第7756890号]



「Easy Assist™」の詳細はこちら



■JLIAサステナブル企業認証ゴールド認証

一般社団法人日本皮革産業連合会が、革産業のサプライチェーン全体を対象に、SDGsの理念を軸に、持続可能な社会、経済、環境の実現へ積極的に貢献している企業を認証する「JLIAサステナブル企業認証制度」において、当社本事業所は、「ゴールド」ランクに認証されました。

今後もステークホルダーと良好なパートナーシップを構築することによって、持続可能な仕組みづくりを牽引する企業であり続けます。



認証ランク：ゴールド
認証番号：G26001JSC

サステナビリティの理念を軸に、持続可能な社会、経済、環境の実現に積極的に貢献している企業であることを認証します。

サステナブル企業認証についてはこちら



■端革を使用した地域との取り組み

サステナビリティの取り組みとして、端革を使用しなお守り(足守り)を製作し、浦安市に鎮座する清瀧神社様にて、2026年1月より頒布しております。このお守りは、当社子会社である、田山製甲所、リーガルビジネスサポートの協力のもと製作いたしました。



足守りの詳細はこちら
(清瀧神社様Instagram)



■New Boots Mark

Heritage Meets Innovation

—受け継がれるクラフトマンシップと進化する革新

受け継がれるクラフトマンシップと進化する革新の融合を表現し、次世代に向けたシューズスタイルを展開するREGAL Boots Mark。

足入れや履き心地を根本から見直し、愛されるデザインはそのままに、現代のライフスタイルに合ったプロダクトへと進化しました。

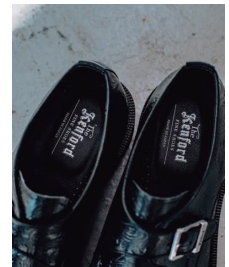


REGAL Boots Markについてはこちら



■The Kenford Fineshoes

「革靴の新たな価値観を構築する」をコンセプトに掲げるメイド・イン・ジャパンのレザーシューズブランド<The Kenford Fineshoes>は、革靴の既成概念を打ち破るブランドの世界観を体現する拠点として、東京店(東京都渋谷区)、大阪店(大阪市中央区)をオープンしました。



The Kenford Fineshoesの詳細はこちら

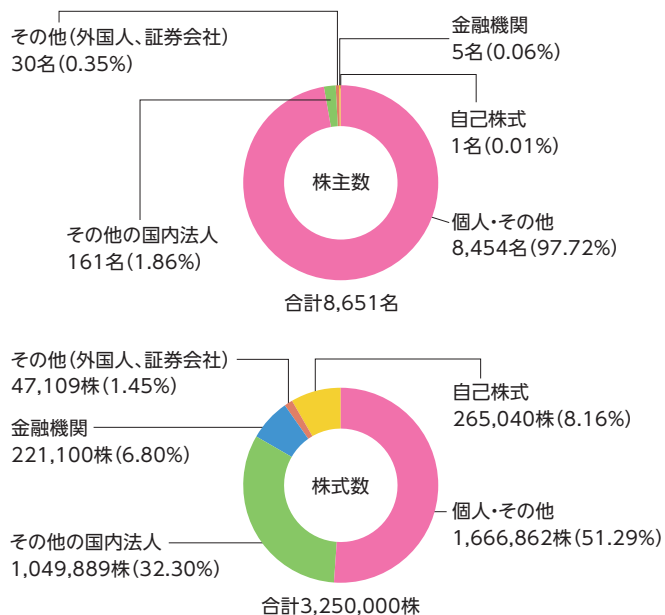


株式の状況(2026年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 13,000,000株
- 発行済株式総数 3,250,000株
(うち自己株式数 265,040株)
- 株主数 8,651名
- 大株主

株主名	持株数(千株)
株式会社ニッポ	402
平和株式会社	159
中央建物株式会社	108
株式会社ダブルイー	100
リーガル取引先持株会	94
みずほ信託銀行株式会社	68
ミツワ産業株式会社	59
株式会社商工組合中央金庫	55
株式会社イオスビジネスハウス	50
株式会社日本カストディ銀行(金銭信託課税口)	45

所有者別分布状況(2026年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年の2月末日まで ※2026年6月23日開催の株主総会決議により決算期(事業年度の末日)を変更しております。なお、第195期の事業年度については2026年4月1日から2027年2月末日までとなります。
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会の議決権 2月末日 剰余金の配当 2月末日 (中間配当を行う場合は 8月31日) ※第195期の中間配当を行う場合の基準日は9月30日となります。
公告方法	電子公告 https://www.regal.co.jp/shoes/c/c9001/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
電子提供制度について	https://www.regal.co.jp/w_info/digital_220913 上記URLにアクセスして詳細をご確認ください。

証券会社等に口座をお持ちの場合住所変更や買取請求等各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

株主優待制度のご案内

年1回、2月末日現在の株主さまに対し、「株主ご優待券」を以下の基準により贈呈いたしております。
「株主ご優待券」は、定時株主総会終了後に発送しております。

贈呈基準	所有株数	1回当たりの贈呈枚数
贈呈基準	100株以上 300株未満	5,000円券1枚
	300株以上 500株未満	5,000円券2枚
	500株以上	5,000円券3枚
ご利用方法	・「株主ご優待券」は当社が運営する小売店舗(一部店舗除く)でご購入代金のお支払いとしてご利用いただけます。 ・「株主ご優待券」のみのご利用の場合は、釣銭のお支払い及び現金とのお引き換えはできません。	
有効期限	発行から翌年6月30日までの1年間 ※なお、決算期変更に伴い、第195期以降の有効期限は、発行から翌年5月31日までの1年間となる予定です。	

会社の概況(2026年3月31日現在)

- 設立 1902(明治35)年1月21日
- 本店所在地 〒279-8553 千葉県浦安市日の出2-1-8 047(304)7050(代表)
- 資本金 5,355百万円
- 事業内容 紳士靴、婦人靴、その他各種靴の製造、販売、修理
- 従業員数 170名(連結 790名)
- 事業所 本店 大阪支店
- 当社ホームページ https://www.regal.co.jp/

沿革

- 1902(明35)年 1月 機械靴の製造、販売を目的とし、東京市京橋区鎗屋町(現 東京都中央区銀座)に「日本製靴株式会社」を設立。
- 1903(明36)年 2月 本店を東京府南足立郡千住町中組(現 東京都足立区千住橋戸町)に移転。同所に本社工場を新設し、同年5月軍靴の生産、販売開始。
- 1945(昭20)年 10月 終戦により民需靴に全面転換。主にグッドイヤーウエルト式製法で紳士靴の生産、販売開始。
- 1958(昭33)年 8月 わが国で初めてダイレクトバルカナイズ式製法を導入。1960(昭35)年より同製法による安全作業靴の生産、販売開始。
- 1961(昭36)年 11月 米国ブラウン社(現 クラレス社)とリーガル・シューに係る技術導入契約を締結。「リーガル」ブランド各種紳士靴の生産、販売開始。
- 1970(昭45)年 10月 REGAL SHOES1号店を東京駅八重洲口に出店。
- 1972(昭47)年 1月 「リーガル」ブランド婦人靴の生産、販売開始。
- 1973(昭48)年 9月 REGAL SHOESフランチャイズチェーン事業開始。
- 1990(平2)年 4月 米国ブラウン社(現 クラレス社)より「リーガル」ブランドの商標権を取得。
- 10月 社名を「株式会社リーガルコーポレーション」に変更。
- 12月 株式を店頭登録。
- 2004(平16)年 12月 ジャスダック証券取引所(現 東京証券取引所)に株式上場。
- 2005(平17)年 7月 中国上海市に「上海麗格鞋業有限公司」を設立。
- 9月 「リーガル」ブランドの海外1号店を中国上海市に出店。
- 2006(平18)年 10月 香港に海外調達の拠点として「香港麗格鞋業有限公司」を設立。
- 2008(平20)年 4月 中国江蘇省に海外生産拠点として「蘇州麗格皮革制品有限公司」を設立。
- 2010(平22)年 8月 本店を千葉県浦安市に移転。
- 2012(平24)年 9月 紳士靴ブランド「シェットランドフォックス」1号店を出店。
- 2016(平28)年 6月 紳士靴ブランド「ケンフォード」1号店を出店。
- 2019(平31)年 4月 販売会社3社を統合し、商号を「株式会社リーガル販売」に変更。
小売子会社である「株式会社ニッカ」の商号を「株式会社リーガルリテール」に変更。
- 2022(令4)年 4月 東京証券取引所スタンダード市場に株式上場。
- 2023(令5)年 4月 「株式会社リーガルリテール」を存続会社とし、「東北リーガルシューズ株式会社」を吸収合併。
- 2025(令7)年 9月 新コンセプトショップ第1号として「リーガル ヤエチカ」を出店。新業態店舗として「アールプラス リーガルコーポレーション」を出店。
- 2026(令8)年 1月 新業態店舗として「ケンフォードファインシューズ 東京」を出店。